

申立ての内容	申立てへの対応
<p>【評価項目】 2 項目別評価 I. 業務運営・財務内容等の状況 (4) その他業務運営に関する重要目標</p> <p>【原文】 「・・・平成26年度においても、応用生物科学部附属動物病院において、電子カルテシステムの情報から作成した飼い主のデータが記載された印刷資料を紛失する事例があったことから、再発防止とともに、個人情報保護に関するリスクマネジメントの強化に一層努めることが求められる。」</p> <p>【申立内容】 【修正文案】の通り修正願いたい。</p> <p>【修正文案】 「・・・平成27年度においても、応用生物科学部附属動物病院において、電子カルテシステムの情報から作成した飼い主のデータが記載された印刷資料を紛失する事例があったことから、引き続き再発防止に取り組むとともに、個人情報保護に関するリスクマネジメントの強化に一層努めることが求められる。」</p> <p>【理由】 附属動物病院の飼い主情報紛失は平成27年度に生じた事案であるため、正確性を期すために数値の修正願いたい。 また、本学では、平成26年度以降、情報保護に対する再発防止策に取り組んでおり、附属動物病院の飼い主情報紛失事案に対しても迅速に再発防止策に取り組んだことから、それらの状況が明らかになるように修正願いたい。</p>	<p>【対応】 意見を踏まえ、以下のとおり修正する。</p> <p>『平成25年度評価において評価委員会が課題として指摘した、個人情報の不適切な管理については、<u>その後</u>も、応用生物科学部附属動物病院において、電子カルテシステムの情報から作成した飼い主のデータが記載された印刷資料を紛失する事例があったことから、<u>引き続き再発防止に取り組む</u>とともに、個人情報保護に関するリスクマネジメントの強化に一層努めることが求められる。』</p> <p>【理由】 平成26年度中において、一定の取組がなされていること、また、今回確認された事例が発生した時点を明確にするため記述を修正するもの。</p>

※平成26年度以降に取り組んだ主な再発防止策

平成26年7月29日～8月4日：医学部及び附属病院職員を対象とした情報セキュリティ研修会

平成26年8月27日：附属小中学校における個人情報保護とグループウェア (G-group) に関する教育研修会

平成27年2月：公開サーバの一斉脆弱性調査

平成27年3月3日：個人情報保護と情報セキュリティに関する教育研修会

平成27年4月1日：国立大学法人岐阜大学個人情報管理規程の改正

平成27年7月：附属学校におけるセキュリティを強化した学校情報システムへの更新

平成27年8月：学内情報管理体制の点検

※附属動物病院の飼い主情報紛失事案の事後経緯と主な再発防止策

平成27年5月13日：事案発生

平成27年5月20日：応用生物科学部内に個人情報管理強化WGと動物病院個人情報保護WGを設置し、再発防止に向けて検討を開始

(決定した主な再発防止策)

- ・応用生物科学部における個人情報を含む研究データ等の取扱いに関する申合せ」を制定
- ・「個人情報適正管理のための自己点検チェックシート」を作成し自己点検を年2回実施
- ・「動物病院個人情報保護マニュアル」を制定
- ・電子カルテシステムを改修

平成27年6月17日：応用生物科学部FD「情報管理の徹底について～情報漏洩問題を受けて～」を開催

【評価項目】

2 項目別評価

I. 業務運営・財務内容等の状況

(4) その他業務運営に関する重要目標

【原文】

「過年度において医学部附属病院講師が発表した論文について、画像の改ざんを行っていた事例があったことから、研究倫理教育の強化を図るなど、再発防止に向けた組織的な取組を行うことが求められる。」

【申立内容】

【修正文案】の通り修正願いたい。

【修正文案】

「過年度において医学部附属病院講師が留学中の研究成果を留学先の教授の指導のもとに発表した論文について、主実験データではない画像の一部を改ざんしていた事例があったことから、研究倫理教育の強化を図るなど、引き続き再発防止に向けた組織的な取組を行うことが求められる。」

【理由】

本件は、本学医学部附属病院講師が、2002年から2004年まで留学した研究機関での指導にもとづく研究成果を発表した4論文において、コントロールデータに相当する電気泳動像の一部を反転、加工等をする改ざんを行った事案である。その事実を明確にするため、修正願いたい。

また、本学では、「岐阜大学における研究活動上の不正行為の防止等に関する規程」を制定するとともに、「岐阜大学研究行動規範」を掲げ、過年度より研究活動における不正行為防止に取り組んできた。平成26年度においては、研究倫理教育をさらに推進するため、CITI Japanプロジェクトによる研究倫理教育講演会「研究倫理教育の現状と課題」を開催するとともに、e-Learningによる研究倫理教育プログラムに医学系研究科大学院1年生全員を登録するなど、再発防止に向けた組織的な取組を推進した。これらの状況が明らかになるように修正願いたい

【対応】

意見を踏まえ、以下のとおり修正する。

『 過年度において医学部附属病院講師が留学中の研究成果のもとに発表した論文について、画像の改ざんを行っていた事例があったことから、研究倫理教育の強化を図るなど、引き続き再発防止に向けた組織的な取組を行うことが求められる。』

【理由】

平成26年度中において、一定の取組がなされていること、また、今回確認された事例の内容を明確にするため記述を修正するもの。